

箕面市待機児童ゼロプラン Ver.2

*国の待機児対策を超えて
就労も在宅も、安心と充実の子育てへ*

平成25年(2013年) 7月

箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局

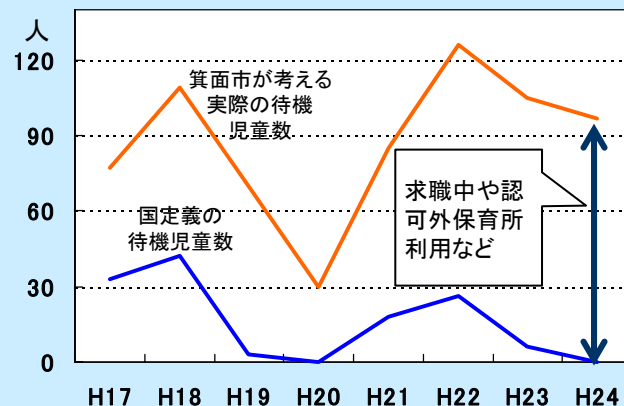
箕面市では、平成24年4月時点で、国の定義による保育所待機児童ゼロを達成しました。

参考：横浜市の国定義による待機児童ゼロ達成は平成25年4月です。

しかしながら、 国の定義に基づく保育所待機児童とは

- 保育所入所申込の結果、待機となった児童のうち、
 - ① 保護者が求職中の児童
 - ② 認可外保育所に入所中の児童
 - ③ 特定の保育所のみを希望する児童などを除くことから、**実際の待機児童数とは異なります。**

箕面市の実際の待機児童数と国定義の待機児童数の推移



箕面市では、国の定義によらず「保育所入所申込みの結果、待機となった全ての子どもたち」を待機児童と考えています。そしてその解消を目指し、「待機児童ゼロプランVer.2」を策定します。

contents

第一章

待機児童ゼロプラン
Ver.1の実績

～計画を上回る整備～

第二章

変化と新たな課題

～幼稚園の変化～

第三章

待機児童対策の
新たな展開へ

～就労も在宅も～

資料

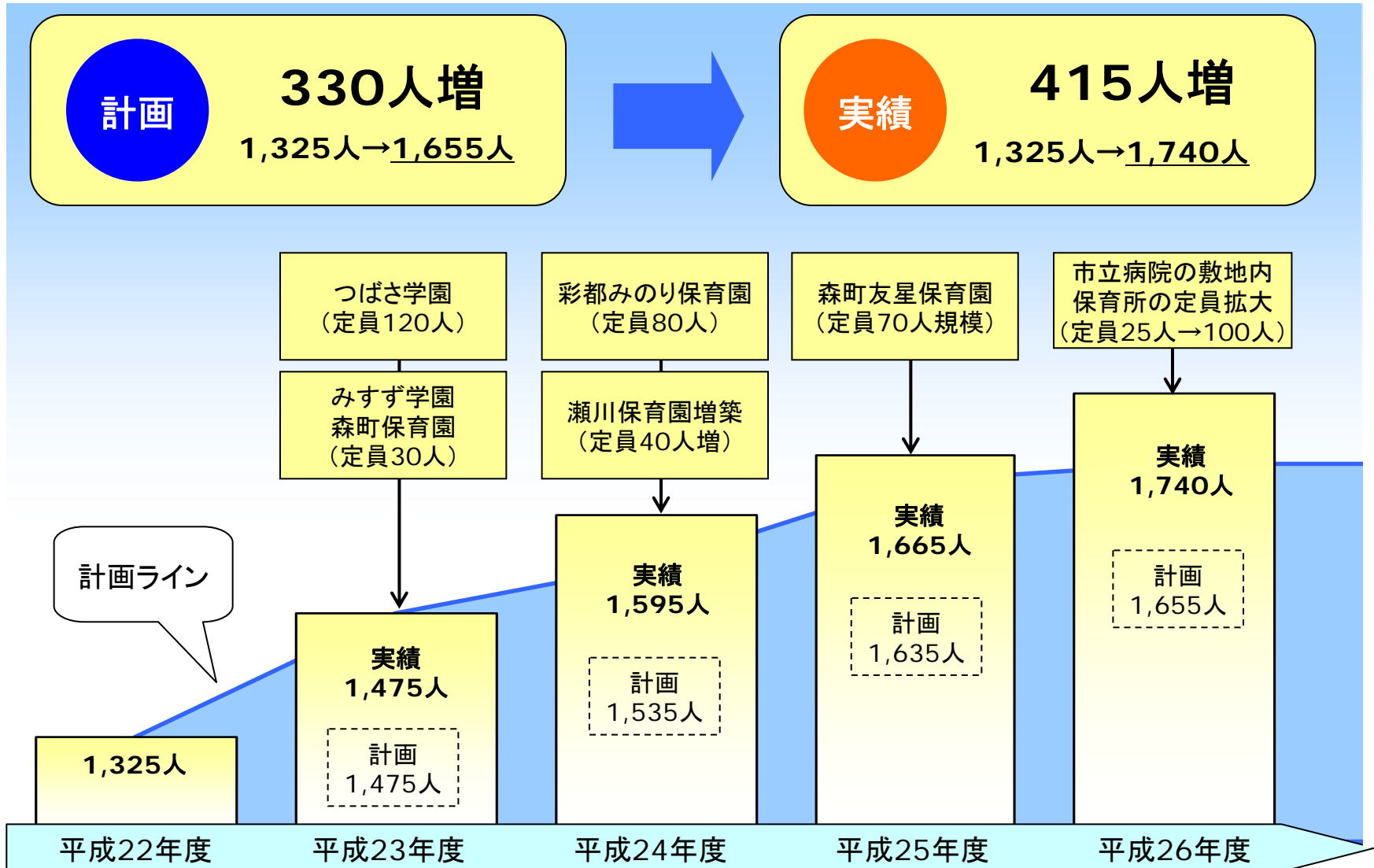
保育所・幼稚園の沿革
保育所・幼稚園の配置状況
子ども1人あたりの市負担額
「子育て応援幼稚園」実施
コスト積算根拠

第一章 待機児童ゼロプランVer.1の実績

～計画を上回る整備～

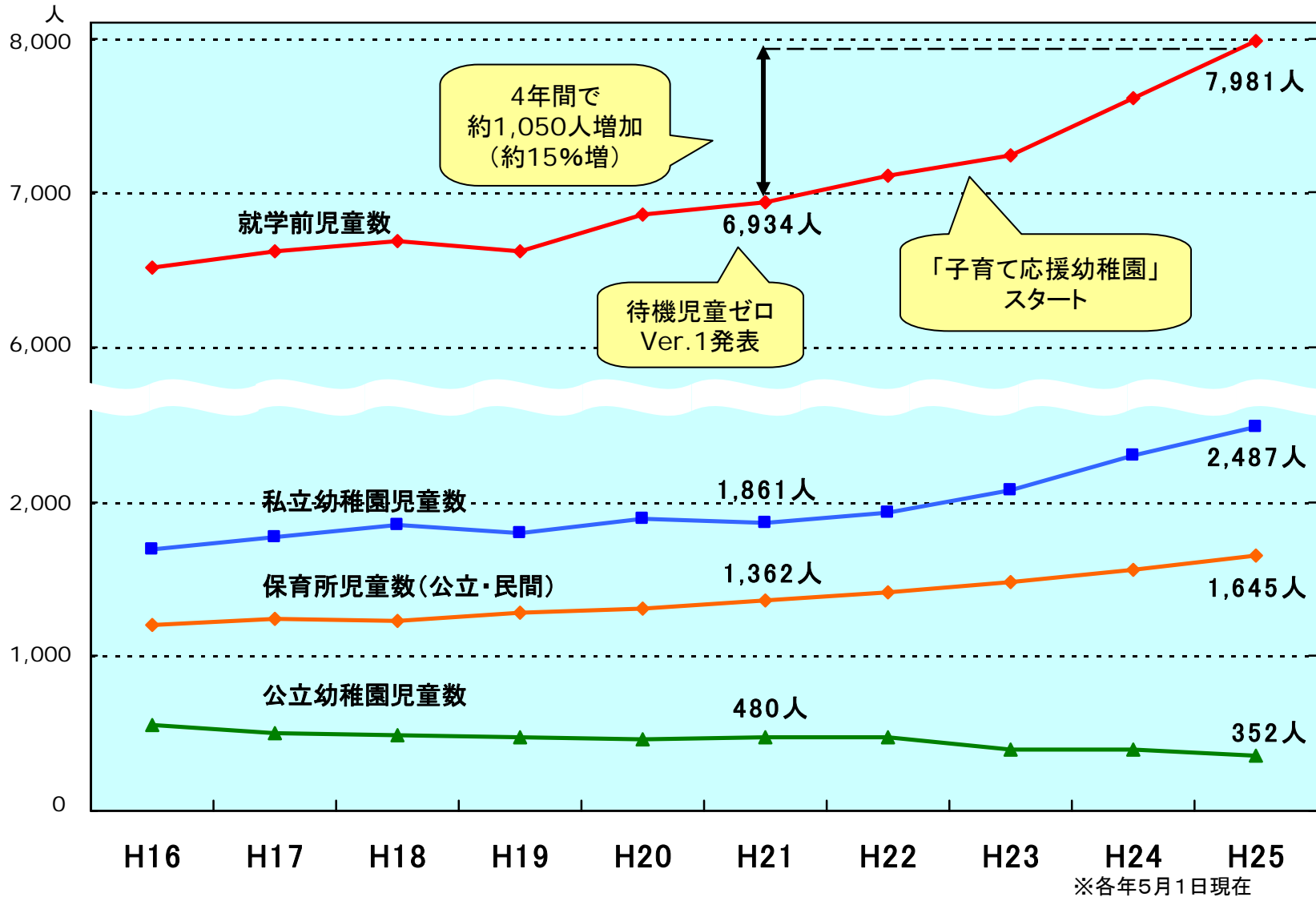
I-1.待機児童ゼロプランVer.1の成果

計画を大きく上回った保育所整備



I -2. 保育所・幼稚園児童数の推移

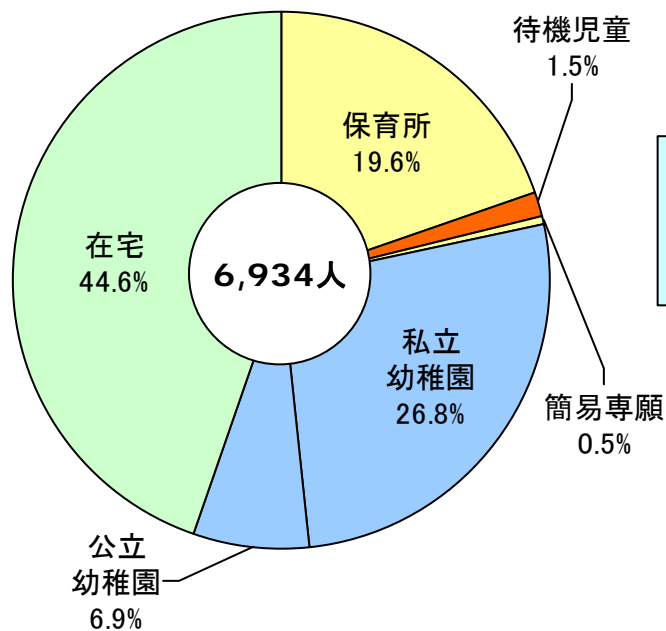
就学前児童数の急増



I-3-①.就学前児童の在籍状況(全体)

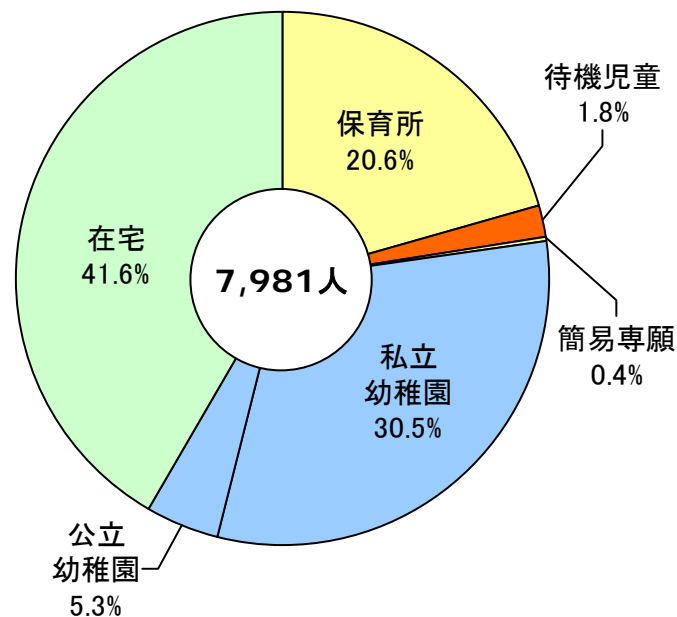
平成21年度→平成25年度 在宅割合が減少

平成21年度



就学前児童
約1,050人増加
(約15%増)

平成25年度



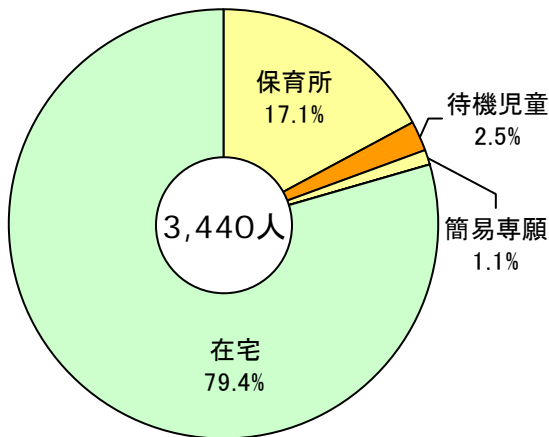
I-3-②.就学前児童の在籍状況(年齢別)

平成21年度→平成25年度 私立幼稚園児が増加

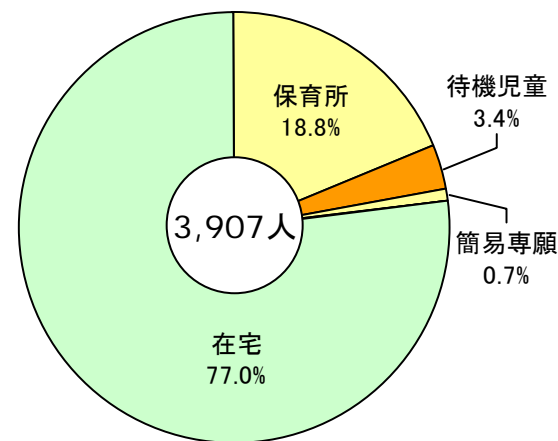
平成21年度

平成25年度

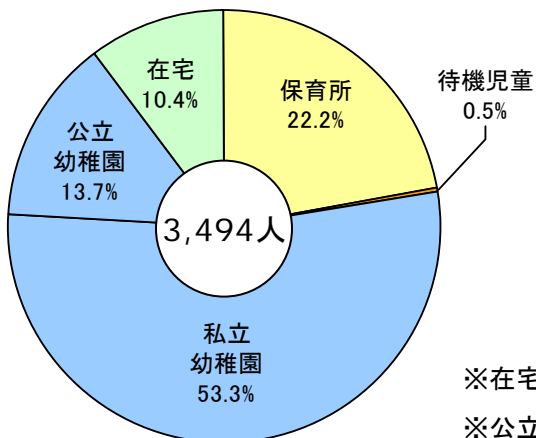
0歳児～2歳児



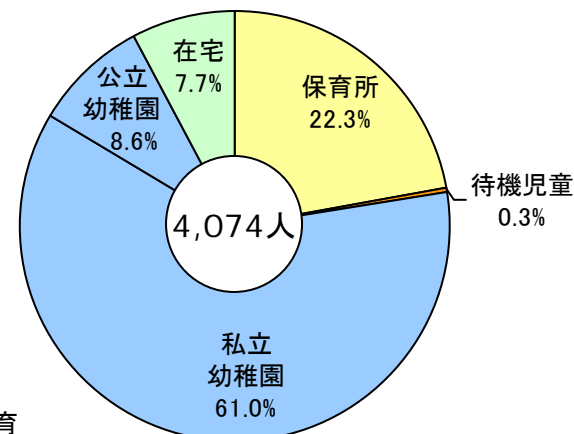
0歳児～2歳児
約470人増加



3歳児～5歳児



3歳児～5歳児
約580人増加



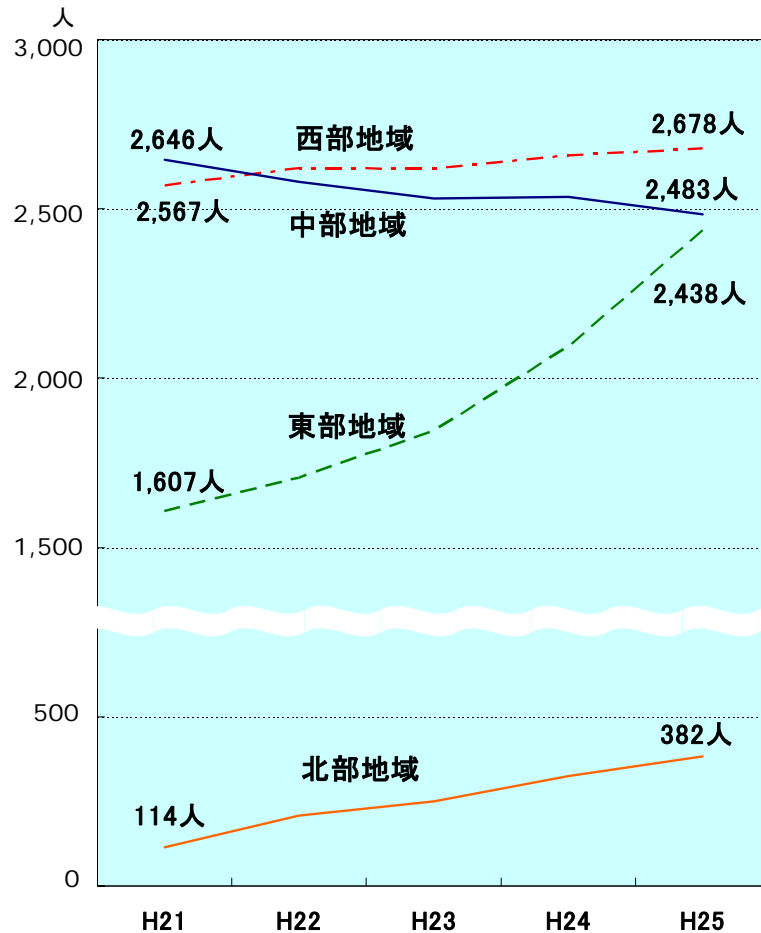
※在宅児童の大半は3歳児

※公立幼稚園は2年保育 私立幼稚園は3年保育

I -4.地域別の就学前児童数の推移

平成21年度→平成25年度地域別の推移と傾向

地域別の就学前児童数の推移

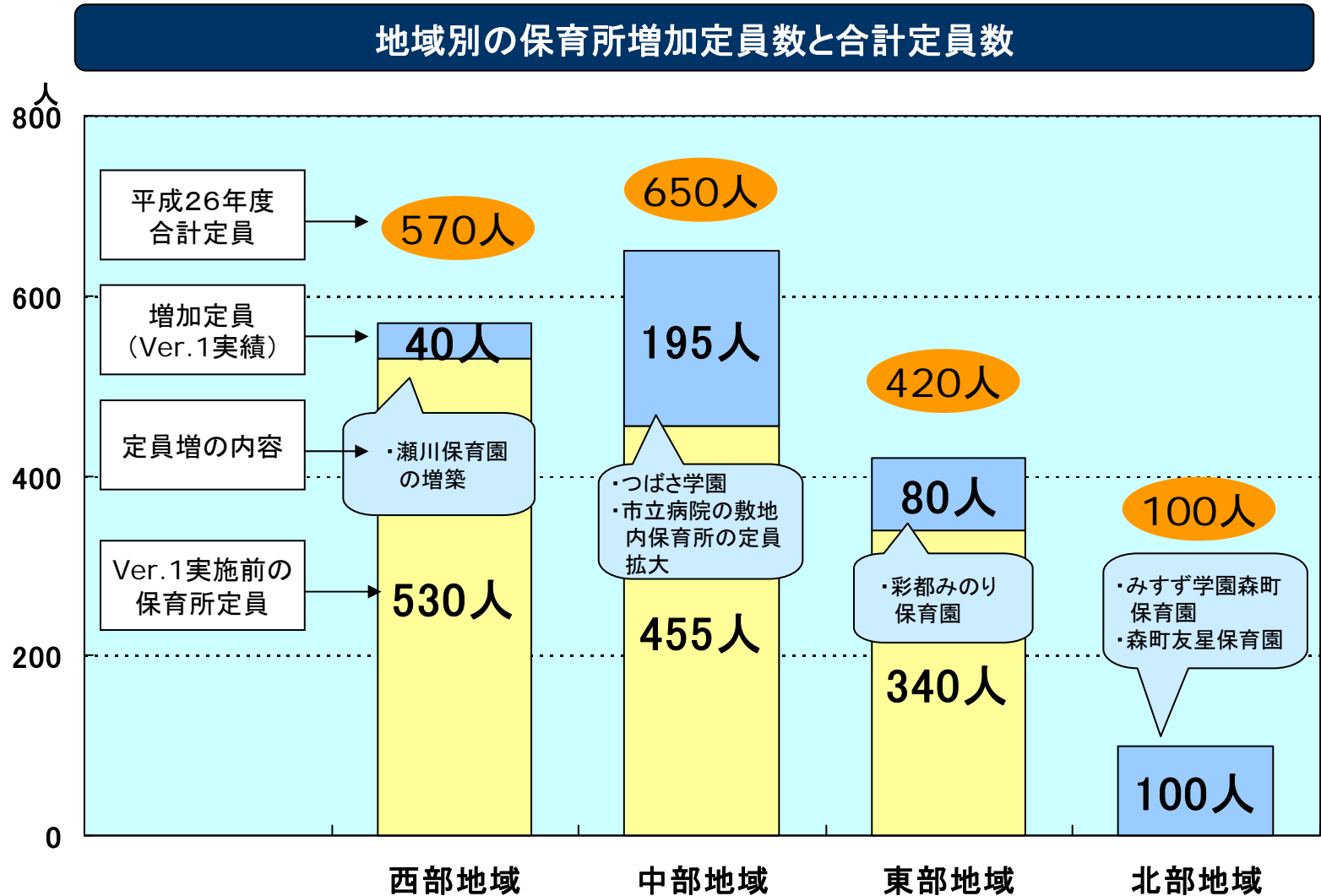


地域別の就学前児童数の傾向

西部地域	就学前人口は2,600人程度でほぼ横ばい
中部地域	就学前人口は西部地域に次いで多いが、やや減少傾向
東部地域	小野原地区、彩都地区の開発により、就学前人口が急増し、西部地域・中部地域とほぼ同規模になる。
北部地域	箕面森町の就学前人口が引き続き増加の見込み

I -5.地域別の保育所整備状況(H26年予定)

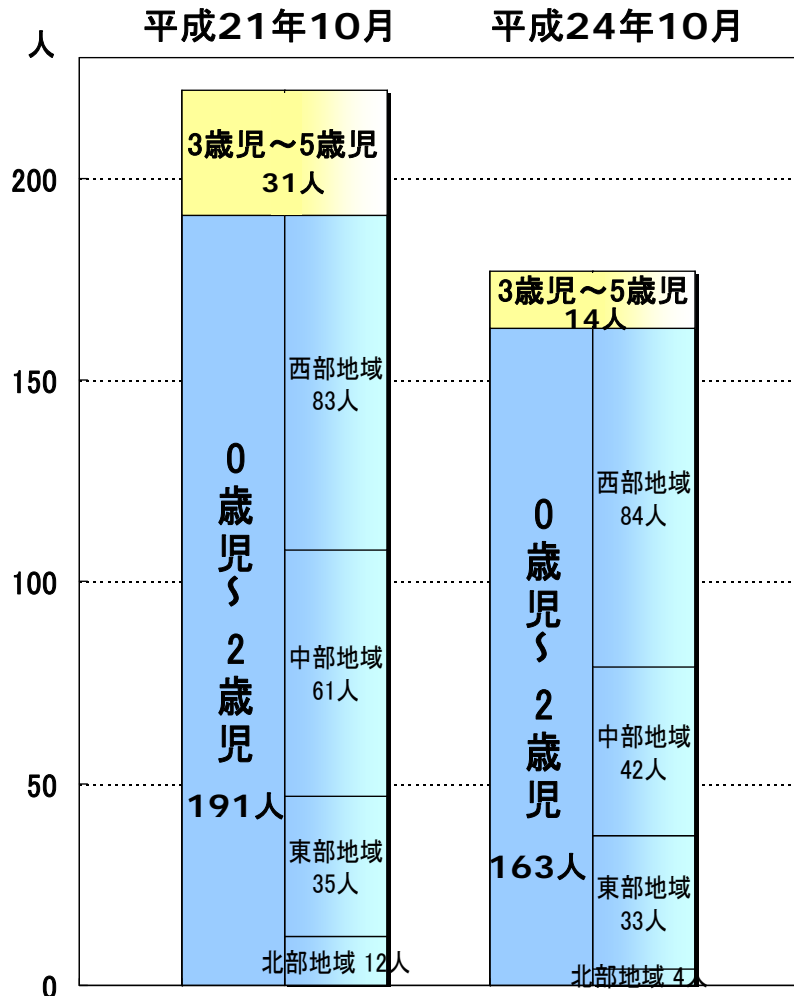
415人定員増の内訳



I -6.待機児童の現状

平成21年→平成24年 年齢別・地域別の状況

待機児童の変化と内訳(年齢別・地域別)



待機児童の現状(年齢別・地域別)

3歳児～5歳児	待機児童は発生しているが希望保育所の集中によるもので、入所定数としては確保できており、 待機児童がほぼ解消
0歳児～2歳児	西部地域 Ver.1による保育所整備が40名増にとどまっておき、0歳児～2歳児の 待機児童が一番多い地域
	中部地域 つばさ学園整備(H23)により待機児童が減少 さらに市立病院の敷地内保育所の定員拡大(H26)により、 待機児童解消の見込み
	東部地域 人口の増加により今後も待機児童の増加が見込まれるため、 早急に対策が必要
	北部地域 森町友星保育園整備(H25)により 待機児童が解消

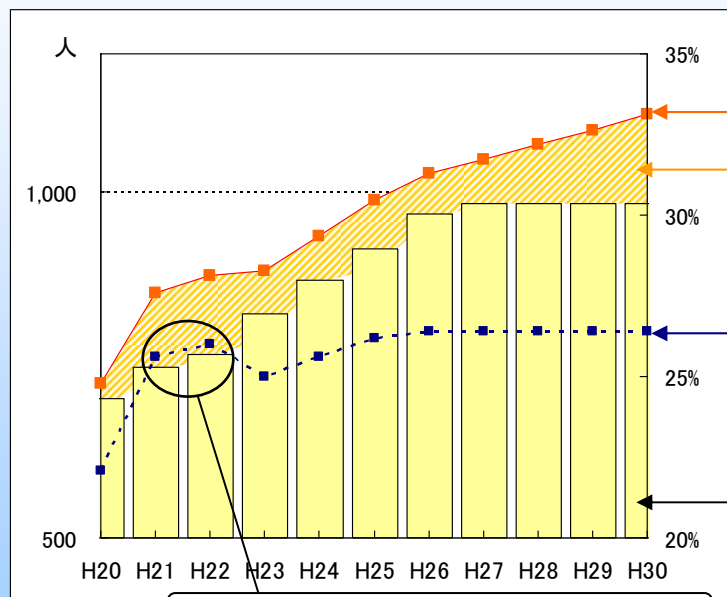
第二章 変化と新たな課題 ～幼稚園の変化～

II-1.待機児童の今後の推計

年齢別要保育児童数の推計

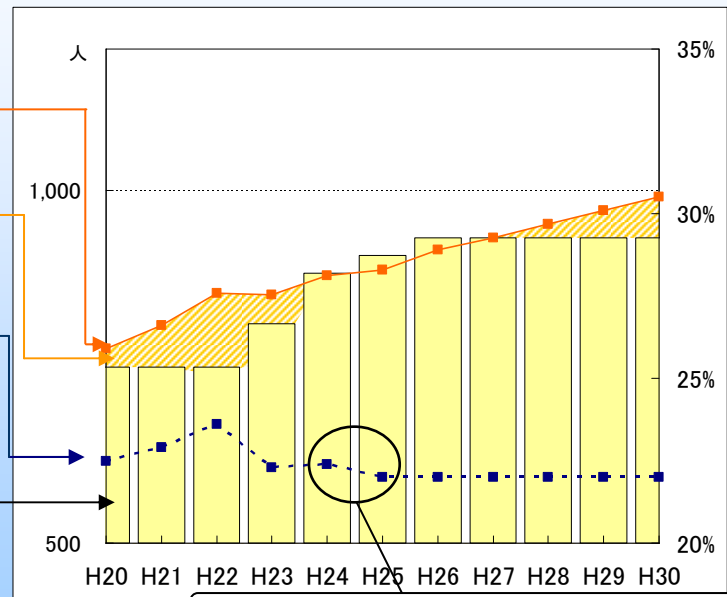
- 箕面市では、開発地域をはじめ子育て世代の転入が多く、就学前人口は今後も増加をたどる見込み
- 就学前人口が増加するため、保育所を必要とする児童数(要保育児童数)も増加

0歳児～2歳児の待機児童推計



リーマンショックにより保育所ニーズが急増

3歳児～5歳児の待機児童推計



「子育て応援幼稚園」により保育所ニーズが減少

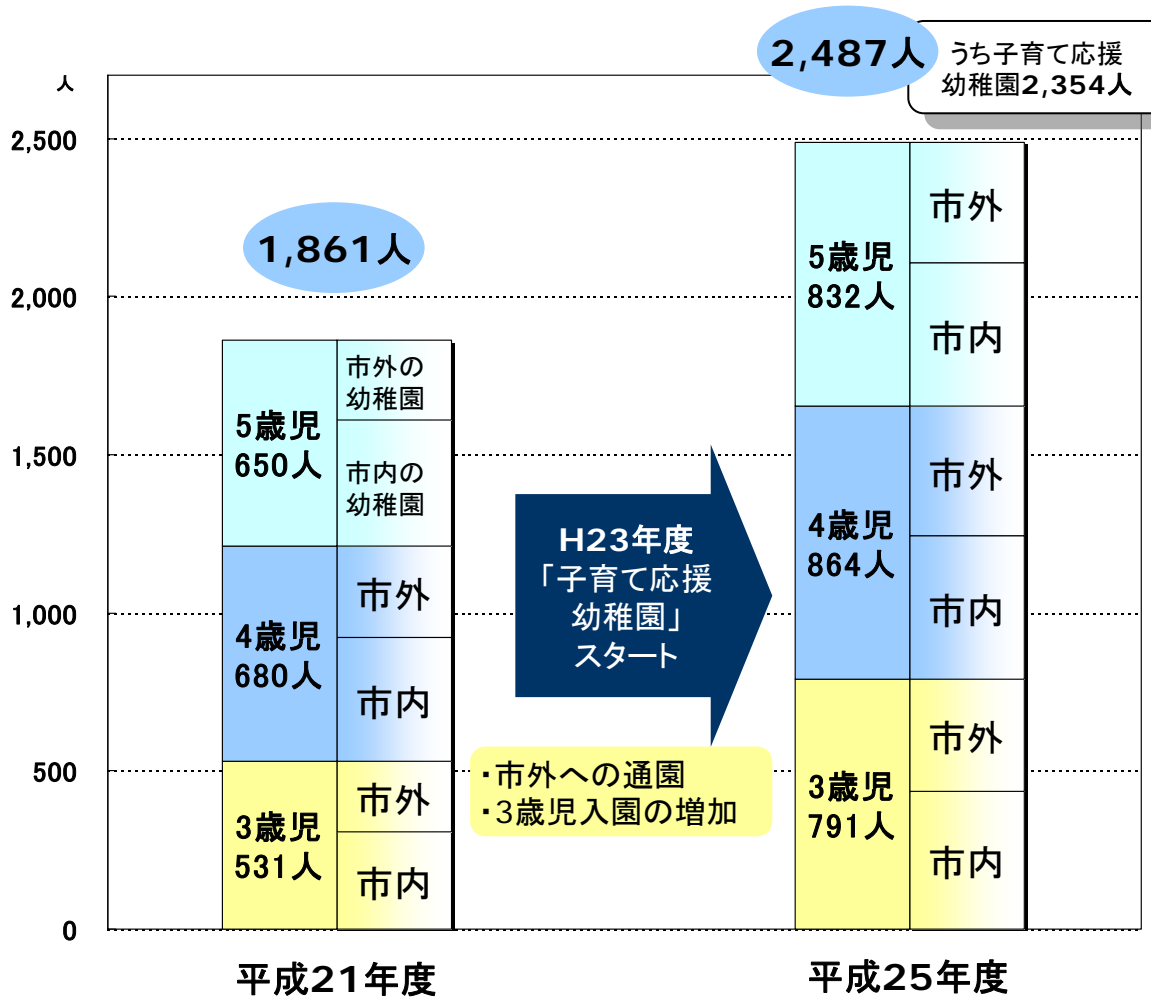
0歳児～2歳児については、保育所定員は増加したが、要保育児童数の増加により待機児童は解消されておらず、今後も発生の見込み

3歳児～5歳児については、「子育て応援幼稚園」により待機児童は解消されたが、H28年度以降再び発生の見込み

II-2.「子育て応援幼稚園」の効果

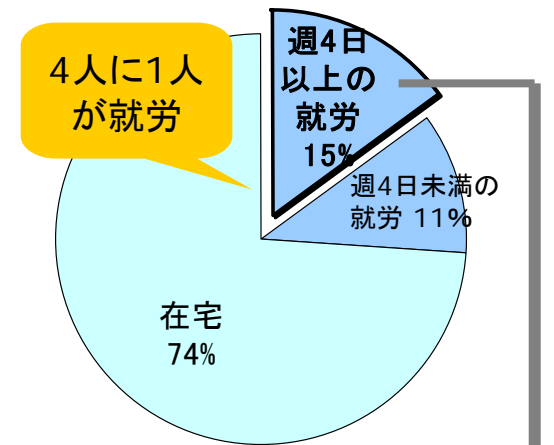
私立幼稚園の園児数増加と就労支援

私立幼稚園の園児数の変化(年齢別・市内市外別)



「子育て応援幼稚園」の保護者の就労状況

※子育て応援幼稚園保護者アンケートより(H24実施)



約330人(保育所3所分)
保育所入所要件である週4日以上
の就労をしながら、子どもが私
立幼稚園に通園

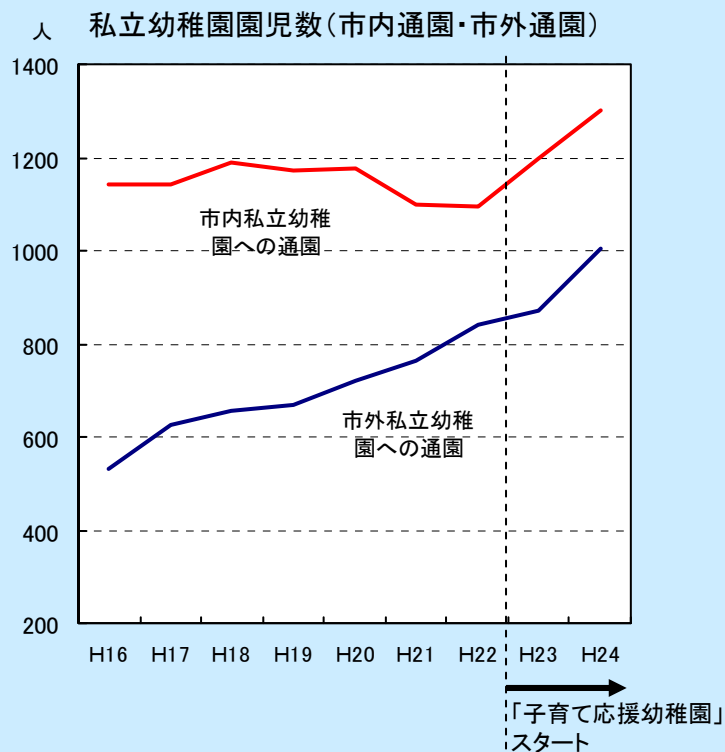
3歳児から5歳児の待機児童
の解消に「子育て応援幼稚園」
が大きく貢献

Ⅱ-3.「子育て応援幼稚園」の現状と課題

入園希望の急増

「子育て応援幼稚園」

園児数の急増



■ 3歳児の空きがある幼稚園は市外の幼稚園2園のみ(市内・市外17園中※)

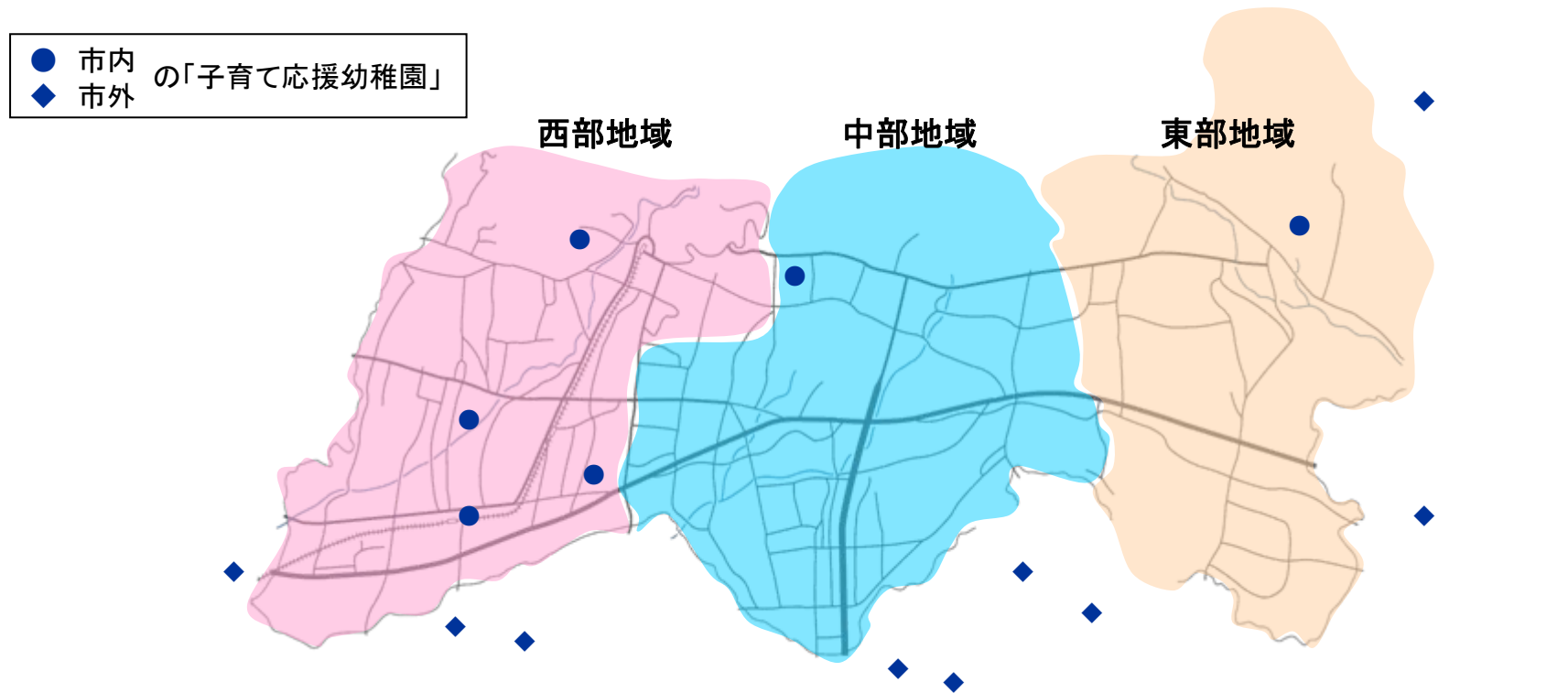
■ 児童の受入れが満杯になり、希望する幼稚園への入園が困難になるなどの影響が出ている。

就労家庭にも 在宅家庭にも
「子育て応援幼稚園」が足りない

※箕面市の子どもが10人以上在籍する「子育て応援幼稚園」平成25年度受付より(北部地域除く)

Ⅱ-4.「子育て応援幼稚園」の分布

地域別「子育て応援幼稚園」への通園状況



地域	【西部地域】	【中部地域】	【東部地域】
就学前人口	やや増加	やや減少	急増
3km以上離れた「子育て応援幼稚園」へ通園	園児の1.2%	園児の7.2%	園児の19.4%
傾向	比較的近い幼稚園への通園が可能となっている	地域に幼稚園は少ないものの、西部地区への通園が定着	通園に時間がかかる園を選択せざるを得ない状況

II-5. 公立幼稚園の現状と課題

園児数の減少が園運営に影響

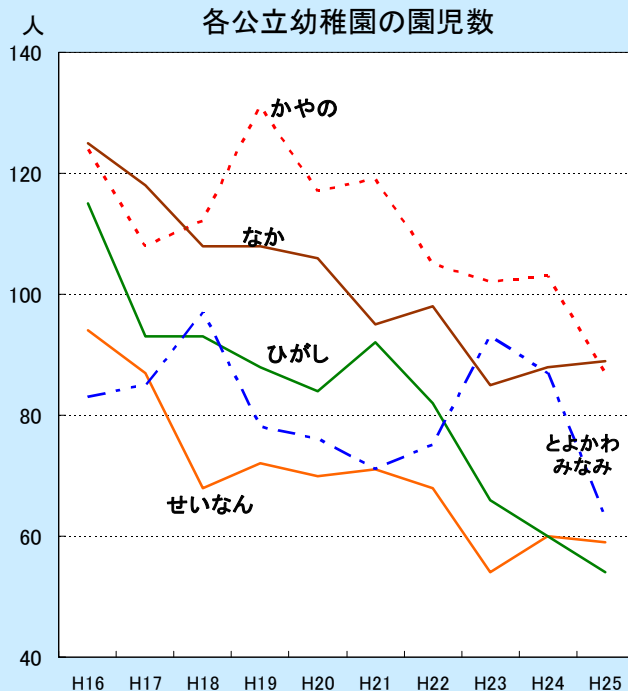
公立幼稚園

園児数の減少

■ 総園児数が平成16年度をピークに年々減少

平成16年度 552人 → 平成25年度 352人

■ 全園2学級×2学年の規模だったが、平成24年度以降、各学年とも1学級の園が出てきている。



園によっては活発な運営が困難になるなど

5園体制の見直しの時期に

II-6.「子育て応援幼稚園」実施のコスト比較

公立・私立の子育て応援幼稚園にかかる経費

同規模の子育て応援幼稚園を公立・私立で運営した場合の保護者の負担・市の負担の比較

「子育て応援幼稚園」
の必要条件

- 3年保育を実施
- 預かり保育を実施
(8:00~18:00)
- 長期休業中も預かり保育を実施

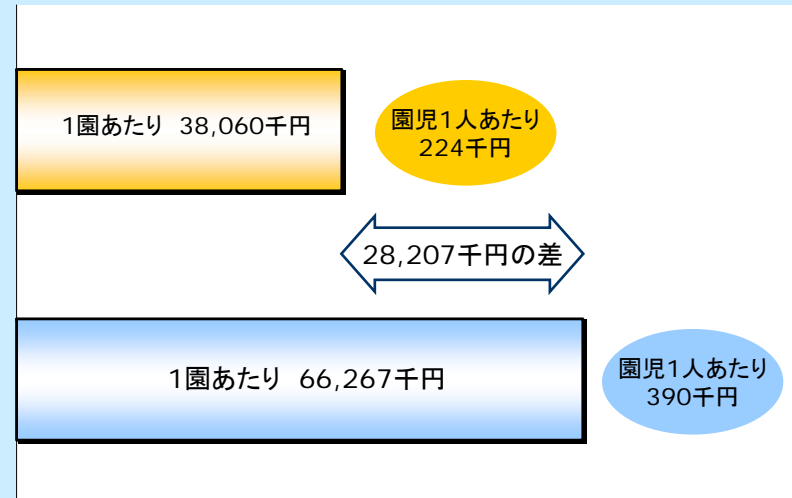
コスト試算の
設定

- 園舎増築により各学年2学級(園児170人(充足率約89%))として試算
- バス、給食の費用は試算に加えていない

保護者の保育料負担額比較



市の負担額の比較



II-7.国の待機児童対策

新たな取り組みを国が発表

国の動き

平成25年4月
「待機児童解消
加速化プラン」を発表

平成25・26年度を待機児童解消に向けた「緊急集中取組期間」と位置付けた緊急プロジェクトを発表

■株式会社を含む多様な主体でスピード感をもった施設整備を推進

■幼稚園での長時間預かり保育など、新制度を先取りして実施(即効性のある受け皿確保)

(緊急プロジェクト一部抜粋)

箕面市では

株式会社2社が箕面市内で保育所開設の意向表明

- ・平成24年11月
(株)アート・チャイルドケア
- ・平成25年2月
(株)JPホールディングス

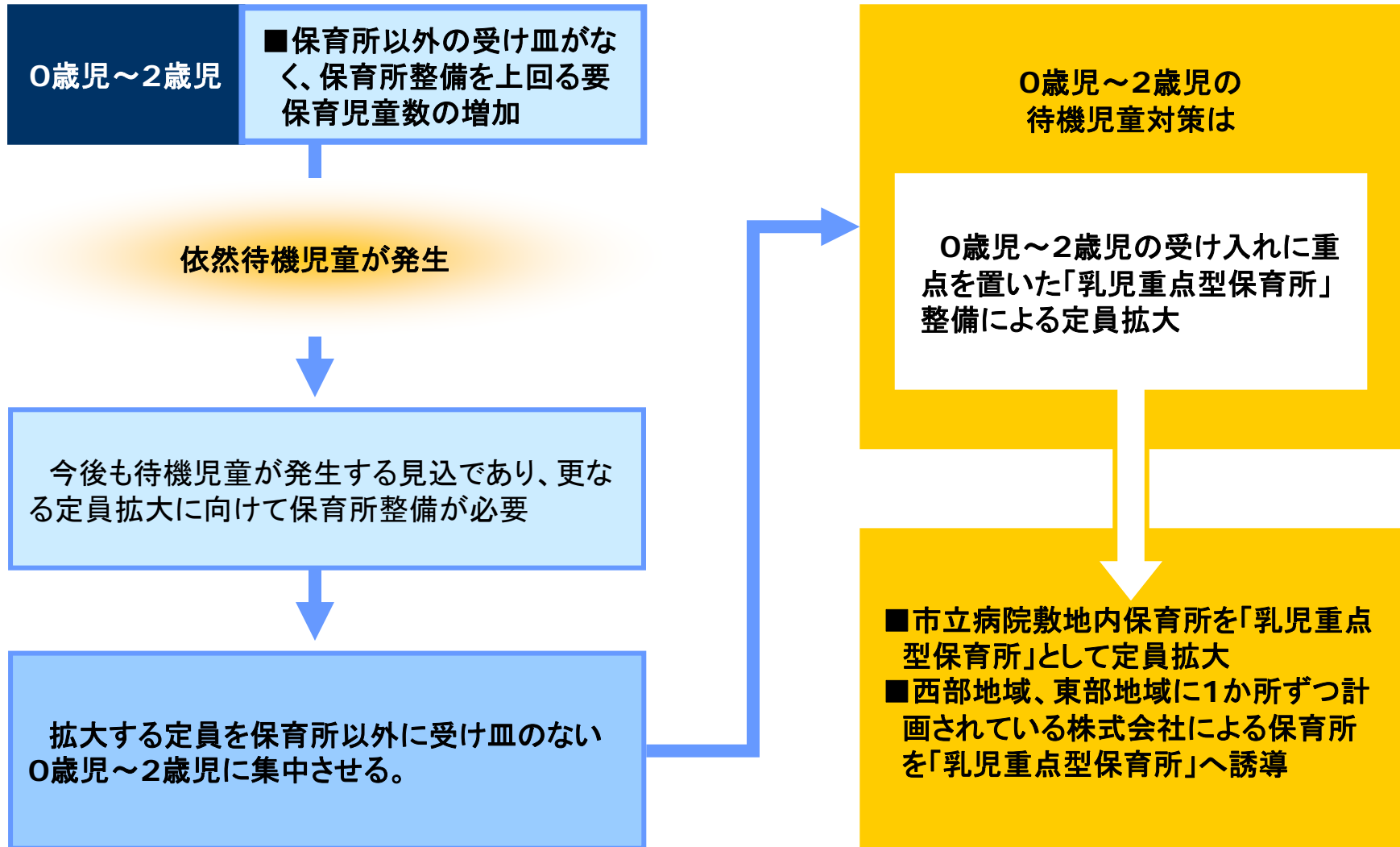
市の整備方針・保育需要に合致するよう、開設する地域や定員の配分を誘導

「子育て応援幼稚園」制度により先行実施し、すでに効果が出出

第三章 待機児童対策の新たな展開へ ～就労も在宅も～

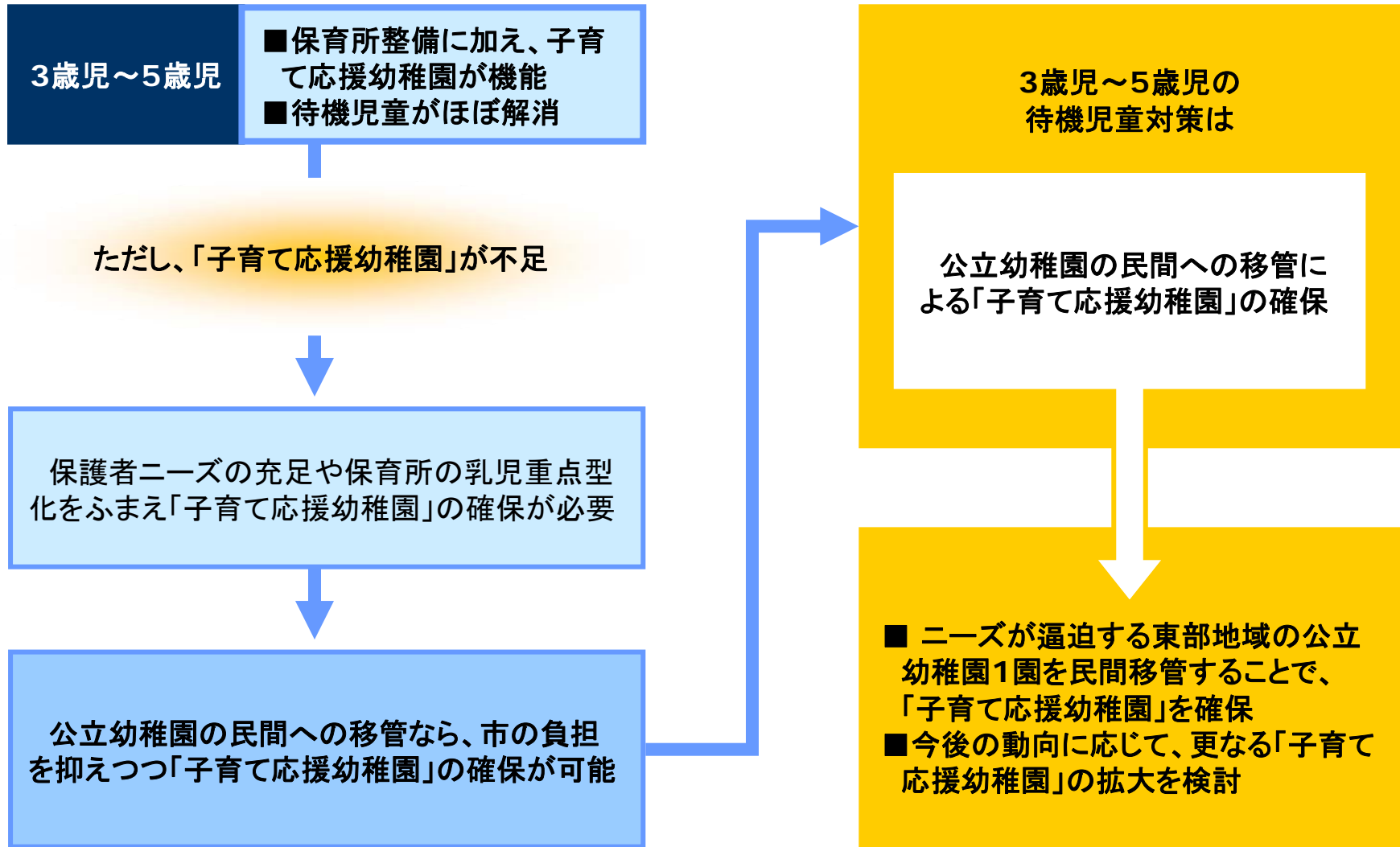
Ⅲ-1-①.0歳児～2歳児の市の待機児童対策

保育所整備による定員拡大



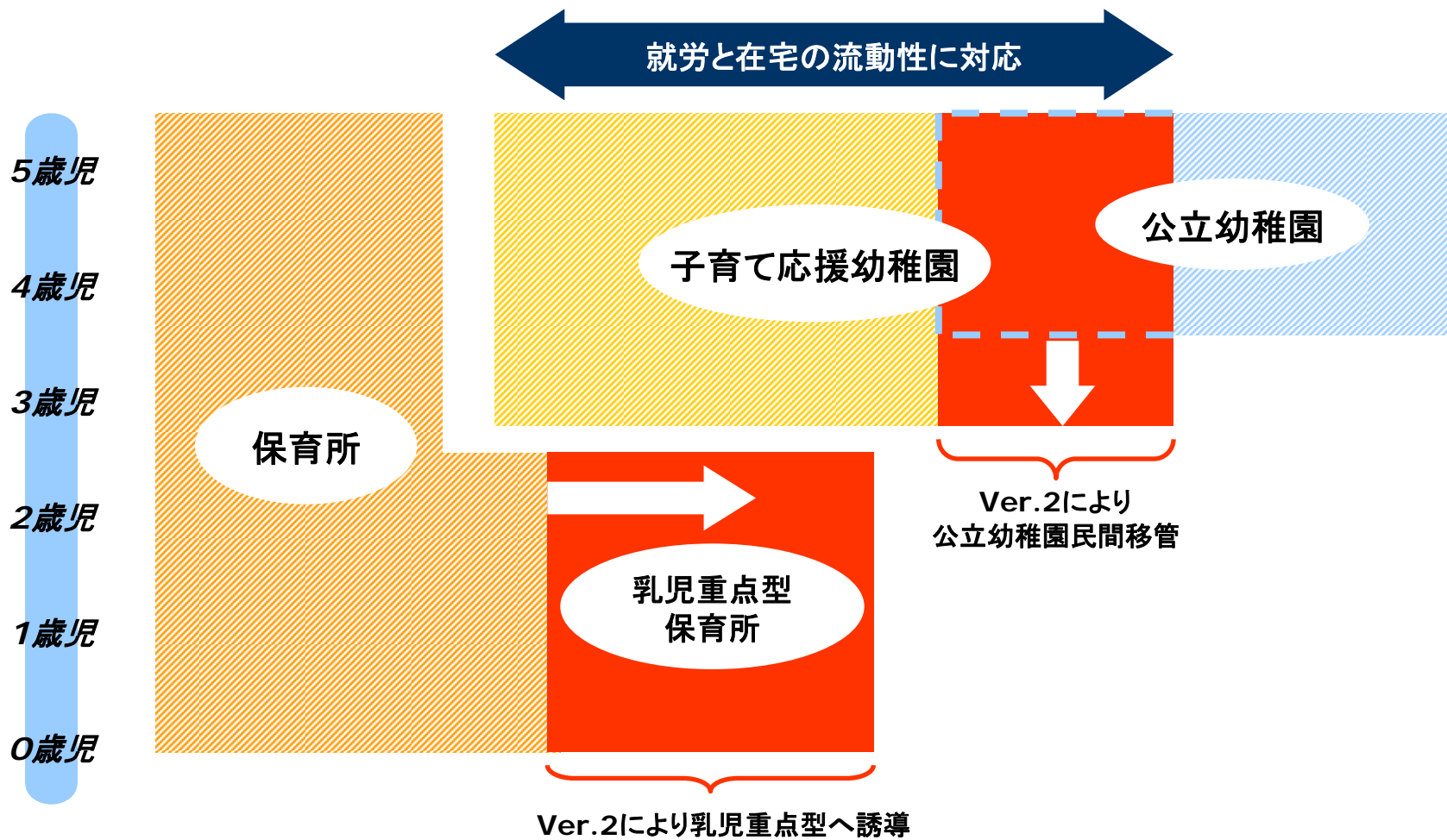
Ⅲ-1-②.3歳児～5歳児の市の待機児童対策

「子育て応援幼稚園」の確保



Ⅲ-2.就労も在宅も、安心と充実の子育て

乳児重点型保育所、「子育て応援幼稚園」の拡大

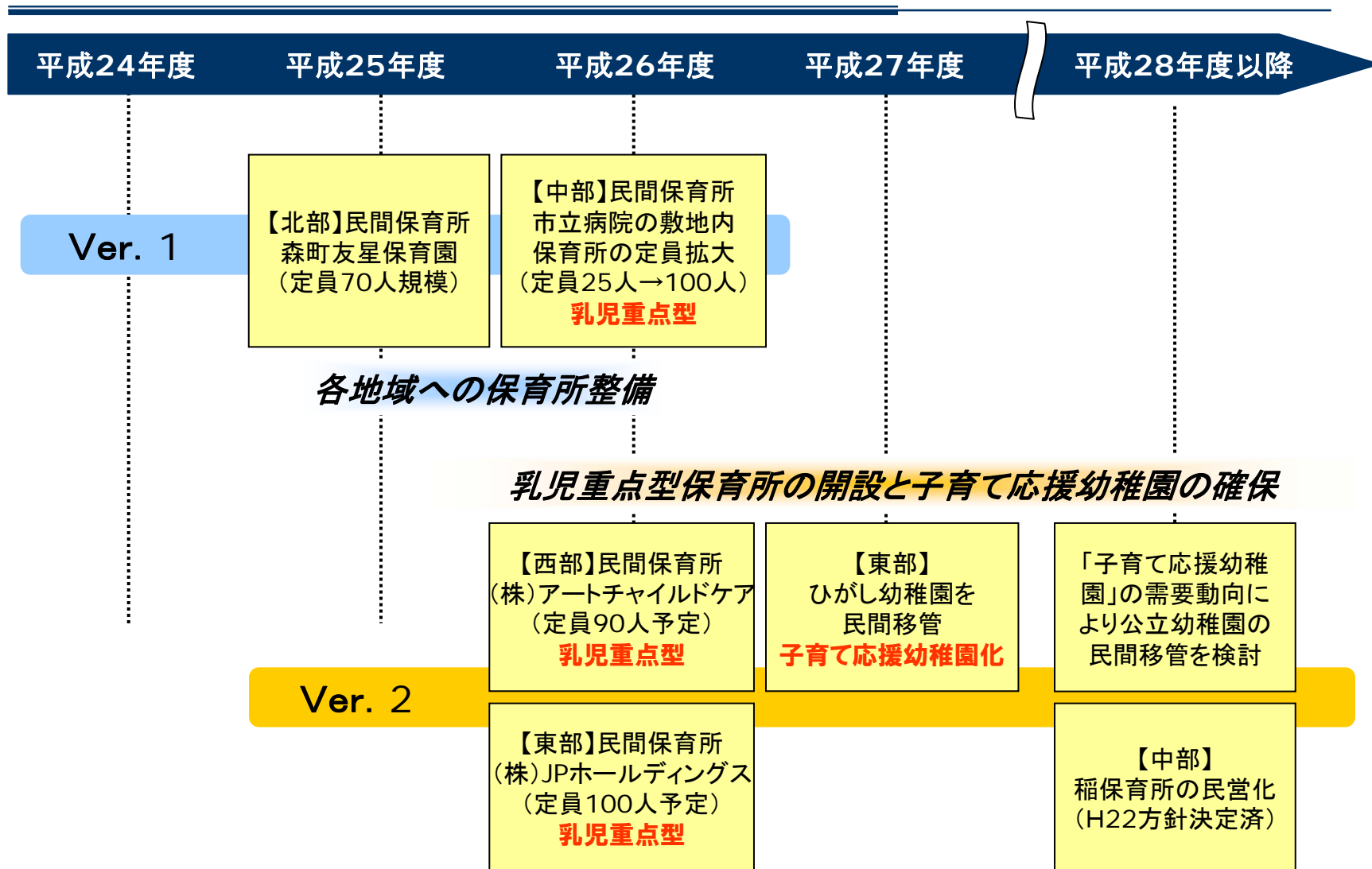


就 労

在 宅

Ⅲ-3. 保育所・幼稚園整備スケジュール

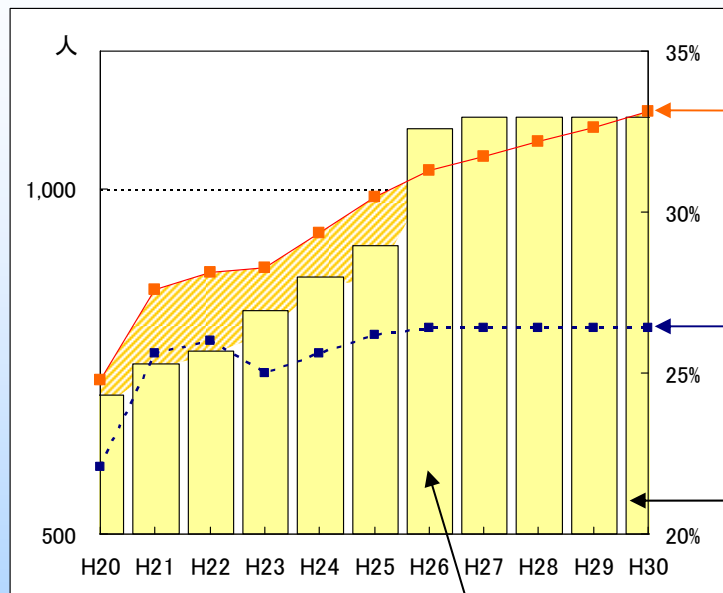
ニーズに対応した施設配置へ



Ⅲ-4.Ver.2による待機児童の解消

各年齢とも待機児童がゼロに

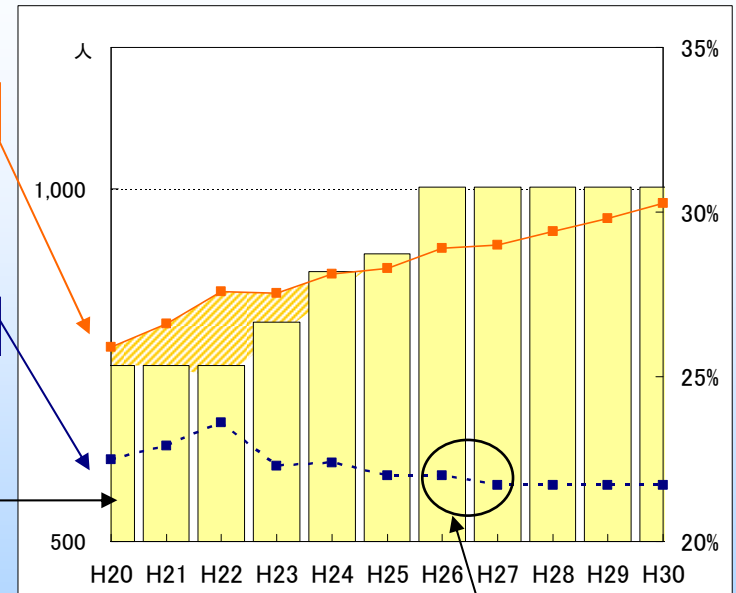
0歳児～2歳児の待機児童推計



乳児重点型保育所3所整備

乳児重点型保育所の整備による0歳児から2歳児の保育所定員の大幅増により待機児童が解消

3歳児～5歳児の待機児童推計

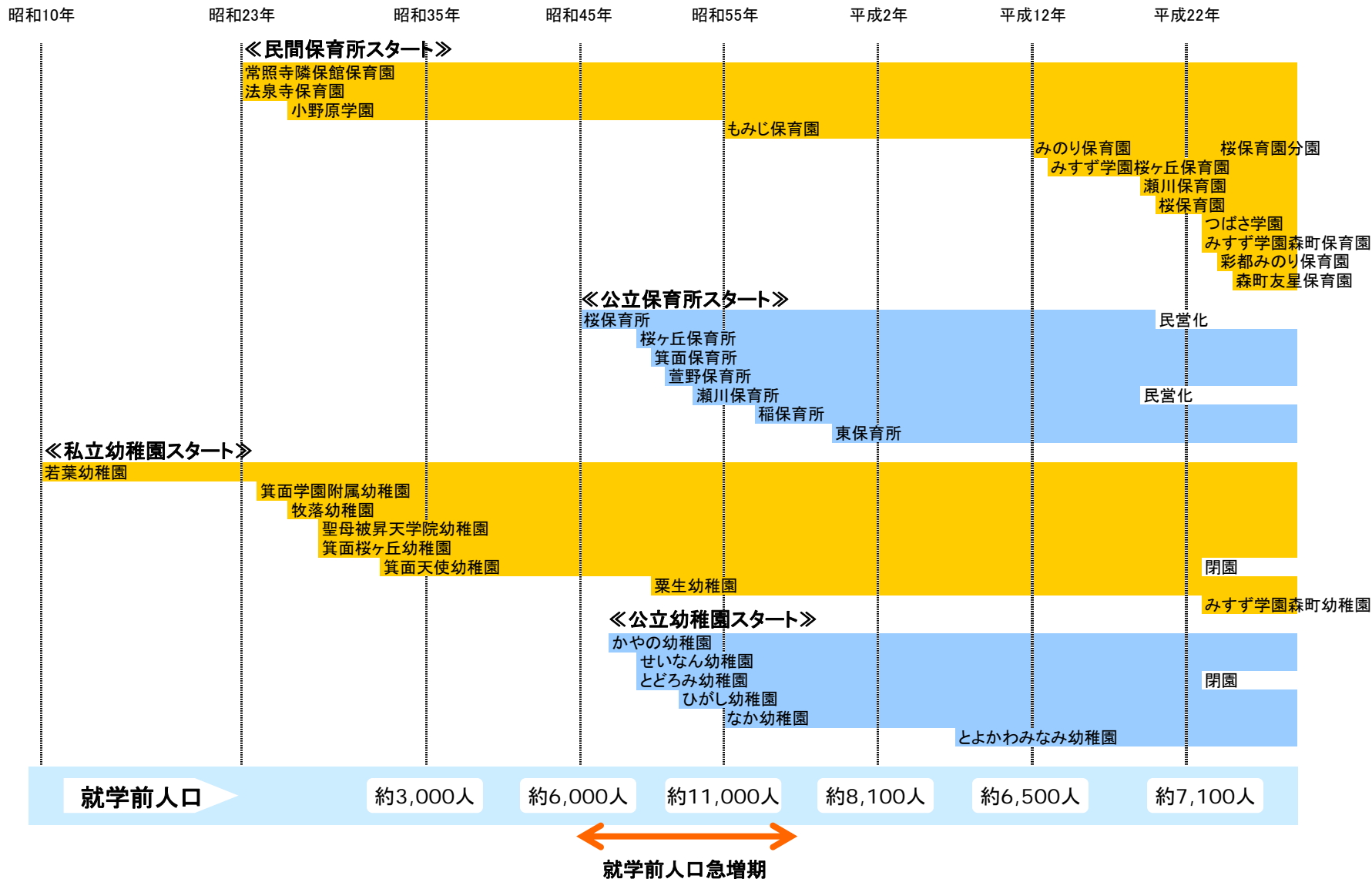


「子育て応援幼稚園」の確保により保育所ニーズを吸収

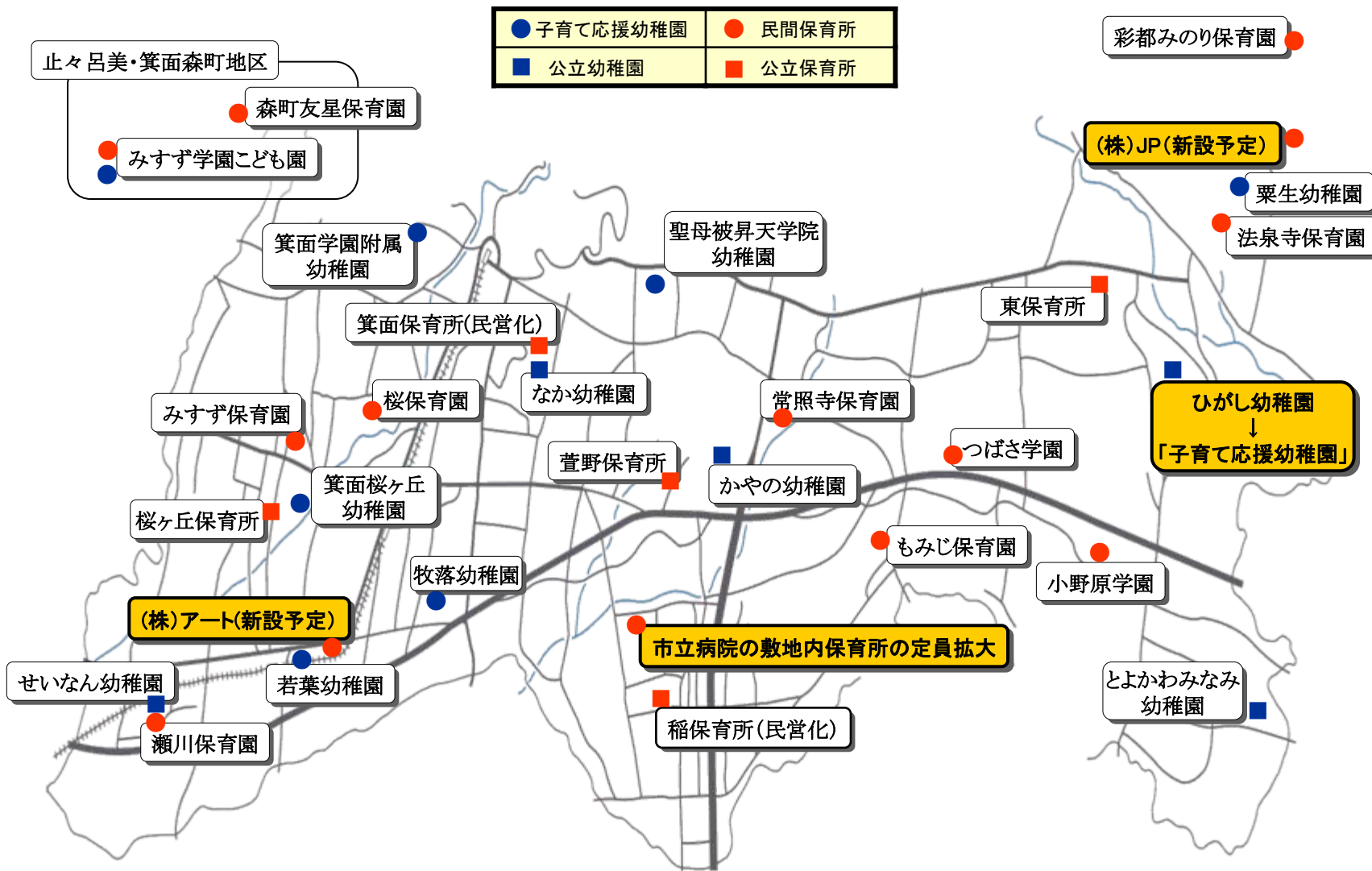
「子育て応援幼稚園」の確保により、要保育児童数の増加が抑制されるため待機児童の発生を回避

資料

箕面市の保育所・幼稚園の沿革



保育所・幼稚園配置状況(H27～)

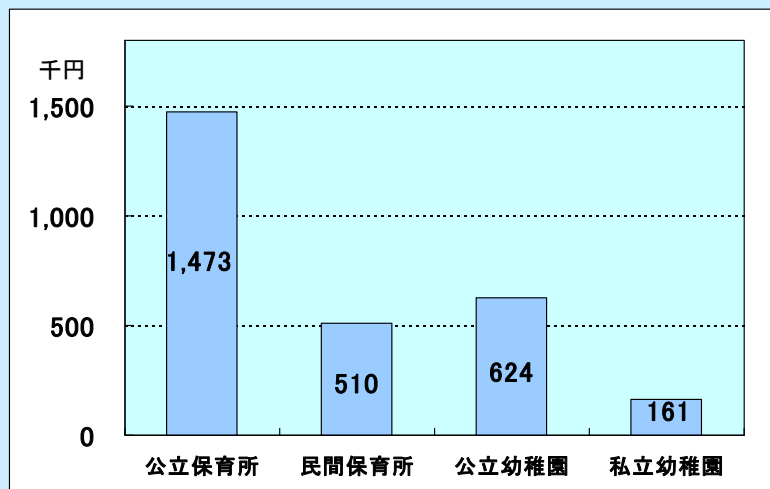


子ども1人あたりの市負担額(平成24年度)

単位:千円
対象児童数:5月1日現在

	市歳出	市歳入	市負担額	対象児童数	子ども1人あたり	備考
公立保育所	1,172,227	208,728	963,499	654	1,473	
民間保育所	1,206,519	706,663	499,856	981	510	
公立幼稚園	295,292	46,820	248,472	398	624	充足率45.5%
私立幼稚園	413,946	43,191	370,755	2,304	161	

子ども1人あたり
市税負担年額



「子育て応援幼稚園」実施コスト(Ⅱ-6)積算根拠

試算にあたっての設定

学級数・園児数	預かり保育	その他	
5歳児:60人(2学級) 4歳児:60人(2学級) 3歳児:50人(2学級) 合計:170人(6学級)	実施時間:8:00~18:00 実施曜日:月~金 長期休業中も実施	各学級ごとに支援 教育担当教員を1人 ずつ配置	保育室増築費用 70,000千円を20年 で償還

公立幼稚園を民間移管した場合

内容	金額(千円)
園への補助(支援教育補助金)	8,568
“(長時間預かり補助)	3,250
“(学級補助・健診補助)	207
“(増築にかかる補助※)	875
保護者への補助	25,160
歳出合計	38,060

※民間認定こども園として安心子ども基金(国・府補助制度)を活用した場合の市負担(増築費用の1/4)

市負担額	38,060
園児1人あたり市負担額	224

公立のまま「子育て応援幼稚園」化した場合

内容	金額(千円)
職員人件費(介助員含む)	78,740
管理運営経費	6,850
預かり保育人件費	3,797
増築費用※	2,500
歳出合計 ①	91,887
保育料収入	20,400
預かり保育料収入	5,220
歳入合計 ②	25,620

※学校施設環境改善交付金を活用した場合の市負担(増築費用の5/7)

市負担額(①-②)	66,267
園児1人あたり市負担額	390

参考

現行

- ・預かり保育なし
- ・3歳児保育なし

現行のひがし幼稚園
運営経費(2学級)

金額(千円)
42,340
4,940
-
-
47,280
7,200
-
7,200

40,080
668